

お早うございます。元気で、新年度を迎えたでしょうか。

さて、3月末の終業式では、「当然と感じている日々を大切に、一方で、急激な変化に対応する力を身に付けることが必要、当然のはずの日常が永遠に続くことはないのだから。」と言いました。このことを、この春休み中に考えてみました。本音を言えば、多くの人が以前のようなリアルな生活を望んでいる。しかし、そのリアルな日々を取り戻すために、今は、様々な感染症対策に取り組んでいく必要があるのだと思います。

引き続き、十分な睡眠・適度な運動・バランスのとれた食事で抵抗力をつけ、3密回避・正しい手洗いや手指消毒・マスク着用・毎朝検温とteamsへの健康観察表データ送信・自身や同居のご家族がPCR検査や抗原検査を受けることになった場合の学校への連絡・仮に高熱が出た場合はお医者さんとも相談のうえ解熱剤を使わずに熱が下がってから48時間経過した後での登校・昼食時は教室の前を向いて短時間で食べ会話をしない・食後はすぐマスクをする・教室の消毒などで感染拡大防止に取り組んでいきましょう。これらのことは、保健所の調査でも重視されていることです。お願いします。

さて、この3月の卒業生は、国公立大63名、早慶上智理科大38名、GMARCH大239名合格などと、毎年その数が増えています。本校は「高いレベルでの文武両道」を掲げています。進路実現に向け、予習・復習、課題の提出、模擬試験や定期考査でできなかった問題を必ず解き直すなど、基本的な取組をしてください。学ぶ姿勢は生涯の財産になります。これは社会に出てからの自信ともなり、様々な困難に出会った時に乗り越える力にもなります。高校時代に学ぶのは基礎基本、つまり大切なことです。このベースとなる力を身に付けましょう。

今回の大学入学共通テストでは、単なる知識だけでは太刀打ちできない、思考の過程を大切にする問題が多数出題されました。今後も様々な工夫がされ、この傾向は高まっていくものと思われます。授業では、先生からの問いに対し、他者の意見を聞きつつも自分で考え抜くという経験が必要です。インプットしたことをアウトプットすることも大切ですが、それだけでは通用しない時代です。これからの時代は、様々な見方、考え方をもちクリエイティブな発想をする、そして、新しい価値を築き上げてこそ、解のない問いに答えることができるのです。自分の思考の過程を確認し、論理的な思考力を高めるため、記述・論述・証明問題などに取り組むことも大切です。

文系・理系を越えた幅広い教養があれば、人生が変わります。人生100年時代における、解のない問いに答えていくには、自分の専門以外にも他の専門の人と協力して課題解決に取り組む必要性があります。特に文系の方は、受験科目に関係なく、理数の力も身に付けてください。以前も言いましたが、本校で学ぶすべての科目をしっかりと身に付けてください。本を読んで違う価値観を知り、色々な世界があることを知ってください。受験をいい機会にしてください。学んで身に付けたことは誰も奪えません。学んだことは大きな財産になります。

また、今後の感染症の状況で不透明なところもありますが、部活や行事をとおして、違う価値観の人と出会い、他者と協力することを学んでください。そこに学校の意義があります。そのためには、日野台生活スタンダードでも言っている「思いやり」の心が大切です。

今は、感染症拡大で危機的な状況です。どんなに気を付けていてもかかってしまうことがあります。感染症のことで他者を攻撃したり、排他的な感情に陥ることがないようにしてください。他者に共感をもって行動しましょう。

今年度も、皆さんには大いに期待をしています。